

ドイツ近代の女流画家

ツェツィーリエ・グラフ・プファフの作品リスト

—油彩・テンペラ・水彩の作品—

安 松 みゆき

はじめに

ドイツ近代の女流画家ツェツィーリエ・グラフ・プファフ(Cäcilie Graf Pfaff: 1862-1939、以下ツェツィーリエと略記)は(図1)、ミュンヘン滞在中の洋画家原田直次郎に恋心を抱いたドイツ画学生として森鷗外の『独逸日記』に登場することから、日本においてもその存在は知られている。しかしこの点を除けば、彼女自身に関する情報は限られており、画家として残した作品すら、その一部しか判明していない。むしろ、そうした原田との関係以外に眼を向けると、ツェツィーリエは日本美術に関して展覧会を開催し、書物を出版するなど、ドイツにおける日本美術の受容と研究に対して多大な貢献をしていることに気づく。論者は以前より彼女の日本美術に関わる活動の考察をすすめ、成果の一部をすでに報告したが、その一方で画家としての創作活動についても、残された作品の調査を実施してきた。本稿では、画家としてのツェツィーリエに光をあてるため、この調査によって確認したツェツィーリエの作品のリストを提示して、作品研究のいわば前提条件にあたるものを整えることにしたい。なお彼女の作品リストは、これまで一度も作成されていないので、本稿に示すリストは初出の試みである。

従来の画家ツェツィーリエをめぐる研究状況について簡単に触れておけば、上記のように日本では、特に鷗外の『独逸日記』に登場する画家原田直次郎との関係において、横川善、美術史家丹尾安典、美術史家新関公子、比較文学者芳賀徹、文学者竹盛天佑等による論考が出されており、ツェツィーリエは確かに鷗外の『独逸日記』に登場する人物としてその概略が紹介され、さらに彼女が原田の描いた作品《ドイツの少女》のモデルの可能性が示された。ドイツでも日本学者アンドレア・ヒルナーが、日本における研究と同様に、文学との関係においてツェツィーリエを取り上げている。その一方でG.ザウレは、ツェツィーリエをナチス時代の画家という枠のなかに位置づけている。彼女の作品についても、日独双方で代表作品は紹介されているものの、断片的な情報にとどまっており、一人の画家および日本美術研究者としてのツェツィーリエ像を結実させるまでにはまだ遠い状況にある¹⁾。

本稿では、論者が1994年以来実施した現地調査や、資料による照合作業から把握し得た彼女の作品のうち、紙面の都合で版画を除き、油彩、テンペラ、水彩、ペン、インク、鉛筆、パステル・クレヨンの作品に限定して作品リストを提示する。リストの性格を明らかにするために、作品の調査方法、同定作業、照合作業、リストの各項目について解説し、末尾に作品リストを添付する。ツェツィーリエの作品には、ほかに版画作品があげられるが、それらについては、別稿においてとりあげることにする。いずれにしても、これまでツェツィーリエの制作作品は部分的にしか知られておらず、しかも個々の作品のデータも整理されてきたわけではないために、かなりまとまって提示される本稿の作品リストは、初めての試みである。

第1節 具体的な作品の所蔵先と関連資料、およびそれらの問題点

1-1 作品の所蔵先の特定

既往の研究において紹介されていた作品所蔵に関する断片的なデータを参考にして²⁾、論者は、1994年からツェツィーリエの現存作品の確認作業を行ってきた。それによって、これまで知られていた機関をはじめ、新たにドイツ大蔵省などの公的機関の所蔵および個人蔵の形で、まだ少なからぬ数のツェツィーリエの作品が保管されていることを確認した。油彩および水彩作品の所蔵先として具体的には、従来より指摘されてきたミュンヘン市立レーンバハ・ハウスの他に、新たに公的機関ではドイツ大蔵省、ダッハウ絵画館、また個人蔵に関しては、ツェツィーリエの孫にあたる遺族のエルヴィン・アルノルトの所蔵をはじめ、ダッハウ絵画館館長ペーター・シュタドラー、その知人ブショール、ホルスト・ヘレス、エルヴィン・シュタドラーの所蔵にツェツィーリエの作品を見出すことができた。

1-2 作品の調査方法とその調査結果から生じた問題点

各所蔵先において、まず、現地に赴き、ツェツィーリエの作品とされるオリジナルの画像を実見し、写真撮影を行った。つぎにそれらの作品に関連する基本データ、すなわち作品の題名、署名の有無、技法、制作年、大きさのデータを蒐集した。公的機関の場合、ほぼそれらの基本データは整理されていた。ただし、展覧会出陳記録と関連文献のデータに関しては、大蔵省の場合には展覧会出陳記録は残されていたものの、関連文献の指摘はなく、ミュンヘン市立レーンバハ・ハウスおよびダッハウ絵画館の場合には、両データともに残されていなかった。なお、レーンバハ・ハウスの所蔵作品のなかには、所蔵されていた記録は残っているにもかかわらず、オリジナルの作品の所在が不明となっていて、画像を実見できなかった水彩作品が3点存在した³⁾。

個人蔵の作品では、署名によってツェツィーリエの作品として確認できる場合と、署名がなく所蔵者がツェツィーリエの作品と見做している場合とが認められた。作品をめぐる基本データについては、いずれの個人蔵においてもそのほとんどが整理されておらず、作品データを提示するまでにはいたっていなかった。その点を補足するために、現地調査の時点で作品を実測し、題名をはじめ、作品に関する情報を所蔵者から聞き取った。

個人蔵のなかで遺族のアルノルトの所蔵作品の場合には、ツェツィーリエの夫で、同じく画家で版画家のオスカー・グラーフの作品とツェツィーリエの作品と一緒に保管されていた。両者は作風に共通する面があるため、署名のない一部の作品は、オスカーの作品との識別が難しい場合があった。

このように、公的機関の所蔵では、大方は画像および関連データを合わせて蒐集できたものの、一部の作品の場合には、画像および作品データが曖昧な状態になっていた。個人蔵では作品を実見できたが、署名がなく作者の特定にいたらない作品が含まれていた。また個人蔵の作品のほとんどが、作品の基本データを伴うものではなかった。こうした調査状況より、調査から得られた画像データをめぐって、作品の同定作業の必要が生じた。

第2節 ツェツィーリエの作品の同定および資料による照合作業について

2-1 関連資料の蒐集

上記の調査状況を受けて、作品の同定および照合作業を行うために、ミュンヘン州立図書

館、ミュンヘン中央美術史研究所等においてさらに関連資料の蒐集を行った。その結果、確認できたツェツィーリエに関する資料は年代順に以下の通りとなった。1903年刊行のミヒャエル・ベロルツハイマー (Michael Berolzheimer) 著『オスカーとツェツィーリエ・グラフ (Oskar und Cäcilie Graf)』⁴⁾、1915年の『美術 (Die Kunst)』第32巻に掲載されたりヒャルト・ブラウングルト (Richard Braungardt) 著「芸術的な年賀 (Künstlerische Neujahrs-Wünsche)」⁵⁾、翌年の同誌第33巻⁶⁾に掲載された同じ執筆者による「オスカーとツェツィーリエ・グラフ (Oskar und Cäcilie Graf)」⁷⁾、1924年に刊行され、オスカーとヘリングラートの作品とともに掲載された作品集『ネルトリンゲン、旧自由帝国都市ネルトリンゲンのピクチュアレスクなもの (Nördlingen, Malerisches aus der ehemals freien Reichsstadt Nördlingen)』⁷⁾、1930年の『美術 (Die Kunst)』第61巻⁸⁾に掲載された、ツェツィーリエ自ら執筆した「ミュンヘンのオスカーとツェツィーリエ・グラフ制作のダルマアを描いた水彩画 (Aquarelle aus Dalmatien von Oskar und Cäcilie Graf, München)」⁹⁾、1933年の『バイエルンラント (Das Bayernland)』第44巻⁹⁾に掲載されたオットー・マイナー (Otto Mainier) 「郷土の民俗学的保存 (Volkstümliche Heimatpflege)」¹⁰⁾、1936年の『美術 (Die Kunst)』第78巻¹⁰⁾に掲載されたU・クリストッフエル (Ulrich Christoffel) 著「ミュンヘンの新版画 (Neuere Münchner Graphik)」¹¹⁾、1937年のP・ブロイヤー (Peter Breuer) 著『ミュンヘンの芸術家たち (Münchner Künstlerköpfe)』¹¹⁾、ツェツィーリエが亡くなった1939年の『ミュンヘン新報 (Münchner Neueste Nachrichten)』第211号¹²⁾に掲載されたS・リュッツォウ (Sophie Rützwow) によるツェツィーリエの記事、ツェツィーリエ本人のメモをまとめて1940年に刊行された『回想 (Zum Gedächtnis)』¹³⁾、1940年の『絵画 (Das Bild)』に掲載されたB・ファイステル・ローメーダー (Bettina Feistel-Rohmeder) の「ツェツィーリエ・グラフ・プファフの回顧展 (Gedächtnisausstellung Cäcilie Graf-Pfaff)」¹⁴⁾、エアランゲン市立文書館 (Stadtarchiv Erlangen) の資料¹⁵⁾、1983年に刊行された『ブルックマンのミュンヘン芸術事典 (Bruckmann Lexikon der Münchner Kunst)』¹⁶⁾。

これらのツェツィーリエの関連資料から得られたデータは、文字データが主であり、画像が掲載される例は、一部に限られていた。また文字データがあるとはいえ、その大半が作品の題名であり、制作年や技法、所蔵先が必ずしも記載されているわけでない。制作年に関しては掲載された書物の刊行年より、ある程度推定することはできるが、それ以外の大きさや技法等に関してはほとんど説明はなく、関連資料から推定することは困難であった。

このように関連文献から得られるデータは必ずしも十分なものでないが、現時点では、これらのデータを画像データと合わせて検討することによって、作品の同定および照合を行うことが最も有効な方法といえる。

2-2 ツェツィーリエの作品の資料による照合および同定作業

上記の調査結果を受けて、デスクワークにおいて、現地調査で入手し得た画像および文字データに加えて、関連文献を整理し、両データを合わせて検討することで、ツェツィーリエの作品の照合および同定を試みた。具体的には以下のようにすすめた。

現地調査でツェツィーリエの作品と見做される例を含み実見し得た作品は、252点を数えた。まず、そのなかから、作品の現状、および文献資料の問題点を踏まえて、ツェツィーリエの制作と確定できる作品を、以下の条件を設定して選び出した (作品リストでは作品名の前に◎印が付されたものが該当)。

前提：

実際に所蔵先においてオリジナルが実見により確認できるか、あるいは出版物に掲載された図版によって、作品の画像を確認できること。

その上で、下記のいずれかの点を満たすものを、ツェツィーリエの作品と確定。

- 1) 署名によって本人の作品であることが裏付けられるもの
- 2) 署名はないが、文献によって本人の作品であることが裏付けられるもの
- 3) 署名はないが、美術館において本人の作品と確定されているもの

この作業をとおして具体的に該当するのは、138点となった。そのうち油彩、テンペラ、水彩、ペン、インク、鉛筆、パステル・クレヨンによる作品は45点を数えた(図2, 3)。

次に、情報が十分でなく、ツェツィーリエの制作と確定できないものの、以下の条件によって、その可能性が高いと思われる作品を抽出した(リストでは作品名の前に○印が付されたものが該当)。

前提：

実際に所蔵先においてオリジナルが実見により確認できるか、あるいは出版物に掲載された図版によって、作品の画像を確認できること。

その上で、下記のいずれかの点を満たすものを、ツェツィーリエの作品と推定。

- 1) 署名はないが、文献によって本人の作品と推定されるもの
- 2) 署名はないが、作風から本人と推定されるもの

この作業をとおして推定される作品は、41点となった。そのうち、油彩、テンペラ、水彩、ペン、インク、鉛筆、パステル・クレヨンによる作品は23点を数えた(図4)。

以上、ツェツィーリエの制作した作品のうち、油彩と水彩による作品として、確定できた作品は45点(◎印)、推定できた作品は23点(○印)となり、それら68点を、ツェツィーリエの作品として作品リストに記載した。ただし、リストにはそれ以外にも、ツェツィーリエによるものである可能性が完全に否定できず、今後の検討が求められる作品(無印)も掲載している。最終的に作品は、油彩、テンペラ、水彩、ペン、インク、鉛筆、パステル・クレヨンの技法別に分け、それらをさらに年代別に並べた。

第3節 作品リストの各項目の説明

ツェツィーリエの作品リストにとりあげた各項目について以下に説明する。

3-1 項目：作品名

美術館に所蔵される作品の場合には、基本的にその題名をそのまま用いているが、関連資料において別の名称が使われているときには、資料に用いられている作品名も併記している。具体的には《水車のある小川で》《ダッハウの水車のある小川で》である。

個人蔵の場合には、そのほとんどが題名不明であり、関連資料を参照して、作品の同定ができ

た場合には、その作品名を踏襲している。それ以外の場合には、所蔵者の意見を参考にしたり、図柄から仮の題名を付けている。なお仮のデータには*印をつけている。

3-2 項目：所蔵先 1-1に重複

3-3 項目：制作年

所蔵先のファイルや関連文献に指摘されている場合には、それを踏襲している。ツェツィーリエは生涯に2回結婚しており、それによって署名を変えていたために、署名から制作年の範囲を推定できる。「Bader」の場合には1888年から1901年まで、「Graf=Pfaff」の場合には1902年以降から亡くなる1939年までの作品である。

制作年が不明の作品をめぐって、さらに描かれた対象の年代を推定することから制作年を判断する場合もある。たとえば、娘や孫を描いたとされるものは、モデルの容貌から制作年代を推定している。あるいは、作品を紹介した文献がある場合には、文献の出版年を制作年の上限と見做している。

これらの条件に当てはまらない作品は、制作年不明とした。

3-4 項目：署名

必ずしもすべての作品が署名されているわけでないが、署名がある場合には、初婚時の「C. Bader」、再婚後の「Cäcilie Graf Pfaff」、「C.Graf Pfaff」の三通りのかたちが見られる。

3-5 項目：大きさ

美術館に所蔵される作品に関しては、すでに大きさのデータが提示されている。個人蔵を中心に調査をおこなった作品に関しては、その時に実測した数値を記している。いずれのデータもcmで表示した。

3-6 項目：展覧会歴

該当作品の展覧会歴を、関連文献によって確認し得た場合には、展覧会名、展覧会の年を記載している。

[註]

- 1) 画家としての評価も、管見においてドイツでは戦後は全く見られず、それに連動して日本でもほとんど紹介されていないといつてよい（たとえば次の展覧会にも全く紹介されていない。『大ミュンヘン美術展』展覧会図録、主催日独文化交流機構、1988年）。1997年に『女性芸術家の辞書（Dictionary of women artists）』がロンドンより出版され、国別に近世から現代までの女流芸術家がとりあげられたものの、そのなかにツェツィーリエの名前を見出すことはできなかった。欧州において彼女の存在はほとんど忘却されているといつてよいだろう。
- 2) 横川善が、ツェツィーリエの作品の所蔵について、簡単に言及している（横川善「原田直次郎とドイツ婦人画家 C-Pfaff —「独逸日記」より—」『鷗外』第29号 森鷗外記念會、115頁）。なおツェツィーリエはミュンヘン婦人芸術家協会会長（Vorsitzende des Künstlerinnen-Vereins）、オリジナル・エッチング協会理事（Vorstandsmitglied des Vereins für Originalradierung）として芸術活動に従事し、ルイトポルト・グループ（Luitpold-Gruppe）に所属していたとも指摘されているが、詳細についてはなお調査の余地が残されて

いる (横川善前掲論文、115頁)。

- 3) 具体的にはレーンバハ・ハウスに所蔵される《ポンペイ・フォーラム》(1913年)、《船IV》(1932年)、《造船所》(1938年)の作品である。
- 4) Michael Berolzheimer: *Oskar und Cäcilie Graf*, München 1903.
- 5) Richard Braungardt: Künstlerische Neujahrs-Wünsche, in: *Die Kunst*, Band. 32, München 1915, S. 129 – 135.
- 6) Richard Braungardt: Oskar und Cäcilie Graf, in: *Die Kunst, Band 33*, München 1916, S. 165 – 177.
- 7) *Nördlingen, Malerisches aus der ehemals freien Reichsstadt Nördlingen*, Nördlingen, 1924.
- 8) C.Graf-Pfaff: Aquarelle aus Dalmatien von Oskar und Cäcilie Graf, München, in: *Die Kunst*, Band 61, München 1930, S. 361 – 364.
- 9) Hrsg. v Bürgermeister i. R. Dr. Otto Mainer: Volkstümliche Heimatpflege, in : Ludwig Deubner: *Das Bayernland* Bd. 44. , München 1933, S. 696 – 698.
- 10) Ulrich Christoffel: Neuere Münchner Graphik, in: *Die Kunst*, Band. 78., München 1936., S. 308 – 310.
- 11) Peter Breuer: *Münchner Künstlerköpfe*, München 1937, S. 160 – 163.
- 12) Sophie Rützow Cäcilie Graf-Pfaff, Ein Nachruf : *Münchner Neueste Nachrichten*, Nr211 München 1939, S. 22.
- 13) Cäcilie Graf Pfaff : *Zum Gedächtnis*, Bücherei d. Bayer. Staatsministeriums f. Unt. und Kult., 1940, Ohne Seite geschrieben.
- 14) Bettina Feistel-Rohmeder : Gedächtnisausstellung Cäcilie Graf-Pfaff, in : *Das Bild* Heft 1/2, Karlsruhe. 1940, S. 82.
- 15) Material “Cäcilie Graf Pfaff” von dem Archiv Stadt Erlangen Nr.III 7. P. 1.
- 16) *Bruckmann Lexikon der Münchner Kunst: Münchner Maler im 19. Jahrhundert*, S. 42.

Eine deutsche Malerin Cäcilie Graf Pfaff (1862 – 1939) —Werkverzeichnis der Gemälde-, Temperamalereien und Aquarelle—

Miyuki YASUMATSU

Die Malerin Cäcilie Graf-Pfaff (1862 – 1939) hat über 250 Werke hintergelassen, in den die Aquarelle und Graphiken auffallend sind. Vor dem zweiten Weltkrieg sind ihre Werke in der Publikationen oft erwähnt und gezeigt. Jedoch ist die Malerin danach bis heute in Deutschland nur wenig geachtet. Das liegt wohl daran, dass ihre Werke von den Nationalsozialisten hochgeschätzt wurden. Dagegen hat man sich in Japan über Cäcilie wissenschaftlich wiederholt beschäftigt, weil sie einen engen Kontakt mit dem japanischen Maler Naojiro Harada hatte, und der Schriftsteller Ohgai Mori die Beziehung der beiden Künstler in seinem Werk geschrieben hat. Aber die Interesse an der Malerin ist auf dieser Geschichte begrenzt, und ihre künstlerischen Werke sind bisher fast unbekannt geblieben.

Seit 1994 habe ich die Werke dieser Malerin im privaten und öffentlichen Besitz in Deutschland untersucht. Nach meiner Untersuchung wird es hier erstmals versucht, das Werkverzeichnis von Cäcilie Graf-Pfaff aufzustellen. In diesem Artikel wird das Verzeichnis von den Gemälden, Temperamalereien und Aquarellen veröffentlicht. Das Verzeichnis von den Graphiken wird im nächsten Artikel gezeigt.

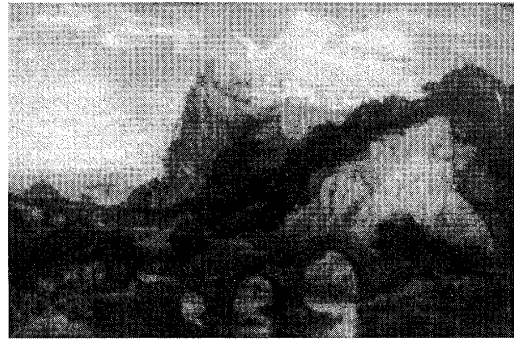


図2 《イタリアのホーエンシュタウフェンブルク》
テンペラ1939年以前



図1 ツェツィーリエ・グラーフ・プファフ
1920年頃

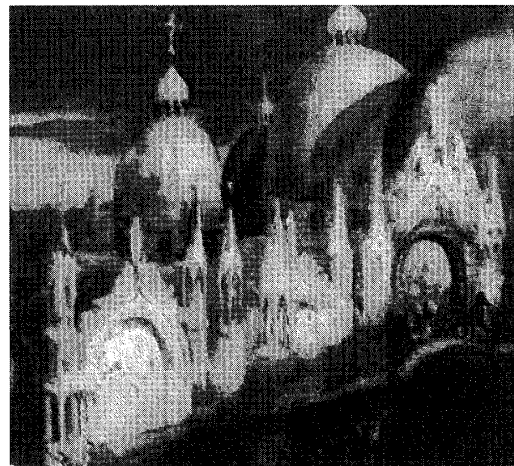


図3 《ヴェネツィア、サンマルコ寺院》水彩
1916年頃

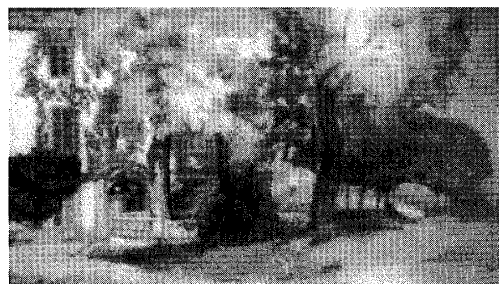


図4 《GRAMME城（フランス）》水彩
1916年

展覧会とその略記 Abkürzungen und Ausstellung

II.Frühjahr-Elite-A. 1908 = I.Frühjahr-Elite-Ausstellung, Prof. Gustav Eberlein, Caecilie und Oscar Graf, Alexander
 K. München 1932 = Kunstausstellung München im deutschen Museum am 01. Juni.-Anfang Okt. 1932
 Staatliche K. München 1933 = Staatliche Kunstausstellung München im 1933 Deutsche und seine Heimat München 1934 = Ausstellung "der Deutsche und seine Heimat" München am 1934
 Grosse Müncher K. 1935 = Grosse Muechener Kunstausstellung im1935
 Münchner K. 1935 = Münchner Kunstausstellung im1935
 Münchner K. 1938 = Münchner Kunstausstellung im1938
 Grosser Deutsche K. 1938 = Grosser Deutsche Kunstausstellung im1938
 Grosser Deutsche K. 1939 = Grosser Deutsche Kunstausstellung im1939
 50 Jahre Muenchner L. und B. = 50 Jahre Muenchner Landschaftsmalerei und Bildnisplastik

作品名/Name	制作年/ Jahr 署名/Unterschrift	大きさ/Größe 技法/Technik	所蔵先/ Aufbewahrung 展覧会歴/ Ausstellungen
◎ 水車の小川で Am Mühlbach あるいは ダッハウの水車のある小川で Mühlbach in Dachau	Am 1902以後 nach1902 Caecilie Graf-Pfaff	70 X 65cm 油彩 Öl	ダッハウ絵画館 Museumsverein Dachau e.v. 不明 unklar
◎ 中庭* Hof	1902以後 nach1902 C. Graf-Pfaff	69.5 X 69cm 油彩 Öl	ブシヨール (ミュンヘン) Bschorr/München 不明 unklar
◎ 川岸の裸婦 Akt am Flussufer	1902以後 nach1902 C Graf-Pfaff	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar 不明 unklar
◎ 母の愛 Mutterliebe	1903 C.Graf-Pfaff	21 X 16cm 油彩 * Öl	不明 unklar 不明 unklar
トロイメライ Träumerei	1906 C.Graf-Pfaff	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar II. Frühjahr-Elite-A.1908
アンダンテ Andante	1908以前 vor 1908 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar II. Frühjahr-Elite-A.1908
古都からのながめ Blick aus der alten Stadt	1908以前 vor 1908 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar II. Frühjahr-Elite-A.1908
レトの街 Die Stadt am Lech	1908以前 vor 1908 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar II. Frühjahr-Elite-A.1908

作品名 / Name	制作年 / Jahr 署名 / Unterschrift	大きさ / Größe 技法 / Technik	所蔵先 / Aufbewahrung 展覧会歴 / Ausstellungen
水車 Die Mühle	1908以前 vor 1908 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar II. Frühjahr-Elite-A.1908
都市の城塞で An der Stadtmauer	1908以前 vor 1908 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar II. Frühjahr-Elite-A.1908
トリオ Trio	1908以前 vor 1908 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar II. Frühjahr-Elite-A.1908
草原に咲く花 Wiesenblumen	1908以前 vor 1908 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar II. Frühjahr-Elite-A.1908
森の源泉 Der Waldquelle	1908以前 vor 1908 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar II. Frühjahr-Elite-A.1908
◎ 古い公園で Im alten Park	1916以前 vor 1916 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar 不明 unklar
森の夕暮れ Abend im Wald	1932以前 vor 1932 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar K. München 1932
孤独な森 Einsamer Wald	1933以前 vor 1933 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar Staatliche K.Muenchen 1933
日曜日の午後 Sonntagsnachmittag	1934以前 vor 1934 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar Deutsche und seine Heimat Munchen 1934
春の夕べ Frühlingsabend	1937以前 vor 1937 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar 不明 unklar
河の風景 Flusslandschaft	1938以前 vor 1938 不明 unklar	不明 unklar 油彩 Öl	不明 unklar Münchner K. 1938

作品名 / Name	制作年 / Jahr 署名 / Unterschrift	大きさ / Größe 技法 / Technik	所蔵先 / Aufbewahrung 展覧会歴 / Ausstellungen
○ パラの茂みのなかのマドンナ 模写 Madonna im Rosenhag	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	85.3 X 113cm 油彩 Öl	プショール (ミュンヘン) Bschorr/München 不明 unklar
◎ ナブ河峽谷 Nabal	1938以前 vor 1938 不明 unklar	不明 unklar テンペラ Tempera	不明 (1938年時、空軍元帥ゲーリング) unklar (Heldmarschall Grosser Deutsche K. 1938)
◎ イタリアのホーエーインシュタウフェンブルク Hohenstaufenburg in Italien	1939以前 vor 1938 無 ohne Bezeichnung	不明 unklar テンペラ Tempera	ドイツ大蔵省 Finanzministerium Deutschland am 1997 ドイツ歴史博 Grosser Deutsche K. 1939
◎ けしの花 Mohn	1878 C. Pfaff 29. Sept. 78	24.5 X 15.5cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
○ ザルツブルク郊外のヘルブルン宮殿* Heilbrunn bei Salzburg	1898 無 ohne Bezeichnung	23.8 X 36cm 水彩 Aquarell	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ 花 スケッチ* Blume Studie	1901頃 um 1901 無 ohne Bezeichnung	不明 unklar 鉛筆 Bleistift 水彩	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
◎ 白樺と小川の風景* Landschaft mit der Birnen und dem Bach	1901以前 vor 1901 C. P. FAFF	47 X 27cm 水彩 Aquarell	プショール (ミュンヘン) Bschorr/München 不明 unklar
◎ ルピナスと飛燕草の咲く庭* Garten mit den Lupinenfeld und Rittersporm	1902以後 nach 1902 C. Graf-Pfaff	33.2 X 26.5cm 水彩 Aquarell	プショール (ミュンヘン) Bschorr/München 不明 unklar
○ エアランゲン近郊のデクセン村の池 Dexendorfer Weiher bei Erlangen	1907 無 ohne Bezeichnung	26 X 34cm 水彩 Aquarell	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
ボンベイ フォールム Pompei Forum	1913 C. Graf-Pfaff 13	32 X 47cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
○ 南の町から Aus der südlichen Stadt	1914 Cäcilie Graf-Pfaff 14	32 X 48cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス、ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar

作品名/Name	制作年/Year 署名/Unterschrift	大きさ/Größe		所蔵先/Aufbewahrung	
		技法/Technik	展覧会歴/Ausstellungen	技法/Technik	展覧会歴/Ausstellungen
◎ 蝶 Schmetterlinge	1915 C. G-Pfaff	31 X 23cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	レーンバハ・ハウス 不明 unklar	ミュンヘン Lenbachhaus München
◎ 蝶 Schmetterlinge	1915 Cäcilie Graf-Pfaff	31 X 23cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	レーンバハ・ハウス 不明 unklar	ミュンヘン Lenbachhaus München
◎ 蝶 Schmetterlinge	1915 Cäcilie Graf-Pfaff	31 X 23cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	レーンバハ・ハウス 不明 unklar	ミュンヘン Lenbachhaus München
◎ 蝶 Schmetterlinge	1915 C. G-Pfaff	31 X 30cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	レーンバハ・ハウス 不明 unklar	ミュンヘン Lenbachhaus München
◎ ヴェネツィア、サンマルコ寺院* S. Marco in Venedig	1916頃 um 1916 C. Graf-Pfaff	56 X 45.5cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar	
○ グラムユ城 (フランス) * Schloss Gramout in Frankreich	1917 無 ohne Bezeichnung	63.8 X 36.8cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	プシヨール (ミュンヘン) 不明 unklar	Bschorr/München
◎ トウルネー ゴシック教会の内陣* Gotische Kirche in Toumai	1914-1918 C. Graf-Pfaff	48 X 63cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar	
○ 鳥と松ぼっくり* Vogel und Kieferzapfen	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar	
◎ ネルトリンゲンの郊外で Bei Nördlingen	1922 C. Graf-Pfaff 1922	25.5 X 46cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	レーンバハ・ハウス 不明 unklar	ミュンヘン Lenbachhaus München
◎ ポンペイ Pompei	1922 Cäcilie Graf Pfaff 22	28 X 21.5cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	レーンバハ・ハウス 不明 unklar	ミュンヘン Lenbachhaus München
◎ ヴィタファ (ヴィオファ) * Viola	1924 C. Graf-Pfaff	35.4 X 45.4cm 水彩 Aquarell	不明 unklar	プシヨール (ミュンヘン) Grosse Münchener K. 1935	Bschorr/München

作品名/Name	制作年/ Jahr 署名/ Unterschrift	大きさ/ Größe 技法/ Technik	所蔵先/ Aufbewahrung 展覧会歴/ Ausstellungen
○ ヴィタファ (ヴィオファ) * Viofa	1924頃 um 1924 無 ohne Bezeichnung	49.8 X 72.7cm 水彩 Aquarell	フシヨール (ミュンヘン) Bschorn/München Grosse Münchener K. 1935
◎ ポプフィングンの城塞跡とイプフ	1924以前 vor 1924 C.Graf-Pfaff	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar 不明 unklar
◎ 防衛用入口からネルトリンゲンの町のながめ Stadt	1924以前 vor 1924 C.Graf-Pfaff	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar 不明 unklar
◎ ルッケン小路 Luckengasse	1924以前 vor 1924 C.Graf-Pfaff	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar 不明 unklar
◎ 聖ゲオルグ大聖堂の側面扉口 Seitenportal der Domkirche zu St. Georg	1924以前 vor 1924 C.Graf-Pfaff	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar 不明 unklar
◎ ベルガー通り Bergerstrasse	1924以前 vor 1924 C.Graf-Pfaff	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar 不明 unklar
◎ 溪谷と城塞跡の残る丘陵の風景 Hügeliges Land mit Flusstal und Burgruine	1928 Cäcilie Graf-Pfaff 28	28 X 22.5cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
ティヴォリ 瀧 Tivoli Wasserfälle あるいはティヴォリの瀧で Wasserfällen in Tivoli	1928 Cäcilie Graf-Pfaff 1928	38 X 54.5cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München Münchener K. 1935 u. 1938
アルパニア山脈からの眺め Blick auf die Albaner Berge	1929 Cäcilie Graf-Pfaff 29	38 X 56cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
◎ コルズラで Auf Korzula	1929 C. Graf-Pfaff 29	36.5 X 50.5cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
◎ アルベ (ダルマチア) Arbe(Dalmatien)	1930以前 vor 1930 不明 unklar	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar 不明 unklar

作品名 / Name	制作年 / Jahr 署名 / Unterschrift	大きさ / Größe 技法 / Technik	所蔵先 / Aufbewahrung 展覧会歴 / Ausstellungen
◎ モスターール (ダルマチア) のトルコ女性 Tuerkenfrauen in Mostar	1930以前 vor 1930 不明 unklar	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar 不明 unklar
◎ モスターール (ダルマチア) Mostar	1930以前 vor 1930 不明 unklar	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar 不明 unklar
船 IV Schiffe IV	1932 C. Graf-Pfaff 7. Okt. 32	36 X 47.5cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
コロッセオ Das Colosseum	1932以前 vor 1932 不明 unklar	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar K. München 1932
シュヴァツヴァルトの風景 Schwarzwaldlandschaft	1932以前 vor 1932 不明 unklar	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar K. München 1932
◎ 建設中のライプハイム郊外のアウトバーン Autobahn bei Leipzig im Bau	1933年以前 vor 1933 Leipzig C. Graf-Pfaff	38.2 X 54.2cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
◎ 山頂 Berggipfel	1933 C. Graf-Pfaff 33	33.8 X 40.8cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン 不明 unklar
◎ バリのボン・ヌフ橋 Paris Pont Neuf	1935 Cécilie Graf-Pfaff 35	36.5 X 47.5cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
アドリア海の船 Schiff in der Adorien	1935以前 vor 1935 不明 unklar	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar Münchner K. 1935
英雄的風景 Heroische Landschaft	1935以前 vor 1935 不明 unklar	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar Münchner K. 1935
ティヴォリ Tivoli	1935以前 vor 1935 不明 unklar	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar Münchner K. 1935

作品名/Name	制作年/Year 署名/Unterschrift	大きさ/Größe 技法/Technik	所蔵先/Aufbewahrung 展覧会歴/Ausstellungen
◎ 公園 Park	1936 Cäcilie Graf-Pfaff	31 X 23cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
海で Am Meer	1936以前 vor 1936 不明 unklar	不明 unklar 水彩 Aquarell	不明 unklar 50 Jahre Muenchner L. und B.
造船所 Schiffwerft	1938 C. Graf-Pfaff 38	37.5 X 54cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
◎ フィレンツェ近郊のアルノ溪谷の眺め Blick ins Amotal vor Florenz	不明 unklar C. Graf-Pfaff	22.2 X 27.7cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
◎ ボンペイ Pompei	不明 v C. Graf-Pfaff	29.8 X 46cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
◎ ラグーザ かばちや売り Ragusa Kürbishändler	不明 unklar C. Graf-Pfaff	38 X 35cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
◎ 船 IX Schiffe IX	不明 unklar C. Graf-Pfaff	33 X 39cm 水彩 Aquarell	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
○ ダウン近郊のハイキング(ケレンバハの谷) Partie bei Dhaun(Kellenbachtal)	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	32 X 24cm 水彩 Aquarell	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ 城の入り口* Eingang des Schlosses	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	不明 unklar 水彩 Aquarell	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ クリステリアン・エアランゲンの城と庭園* Schloss und Garten zu Christian Erlangen	子供の頃 Kindzeit 無 ohne Bezeichnung	不明 unklar 水彩 Aquarell	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ エアランゲンの庭* Garten in Erlangen	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	42 X 31cm 水彩 Aquarell	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar

作品名/Name	制作年/Jahr 署名/Unterschrift	大きさ/Größe 技法/Technik	所蔵先/Aufbewahrung 展覧会歴/Ausstellungen
○ フランケン地方の風景* Fränkische Landschaft	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	26.5 X 35cm 水彩 Aquarell	エルヴイン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ エアランゲン近郊の森* Waldstueck in der Naehе von Erlangen	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	37.7 X 26.5cm 水彩 Aquarell	エルヴイン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ ヴイントエック エアランゲンの家* Windeck des Erlangenhauses	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	32 X 26cm 水彩 Aquarell	エルヴイン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
◎ サン・ジミニアーノの町* Stadt S.Gimignano	不明 unklar C. Graf-Pfaff	28.7 X 44cm 水彩 Aquarell	フシヨール (ミュンヘン) Bschorr/München 不明 unklar
◎ ラグーザ ドミニコ会修道院の回廊* Dominikaner Kreuzgang in Ragusa	不明 unklar C. Graf-Pfaff	39.4 X 47.2cm 水彩 Aquarell	フシヨール (ミュンヘン) Bschorr/München 不明 unklar
◎ 湖と山* See und Berg	不明 unklar Cäcilie Graf-Pfaff	不明 unklar 水彩 Aquarell	エルヴイン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
◎ 少年の裸体画 習作 (下絵) Knabenakt Studie	1922 C. Graf-Pfaff 22	22 X 35.5cm ペン Feder イング Tusche	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
◎ 寄りかかゝる裸の少女 Liegendes nacktes Mädchen	不明 unklar C. Graf-Pfaff	22.5 X 35.5cm ペン Federzeichnung	レーンバハ・ハウス ミュンヘン Lenbachhaus München 不明 unklar
○ 女性の後ろ姿、上半身、習作* Frau Rückseite Studie	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	27.5 X 22.3cm ペン Federzeichnen*	エルヴイン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ 風の角 Wind Eck	1880年代頃 無 ohne Bezeichnung	不明 unklar インク Tinte*	エルヴイン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ 小鳥を手にする少年* Der Jugend mit dem Vogel	1876 無 ohne Bezeichnung	30 X 22.5cm 鉛筆 Bleistift*	エルヴイン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar

作品名/Name	制作年/Year 署名/Unterschrift	大きさ/Größe 技法/Technik	所蔵先/Aufbewahrung 展覧会歴/Ausstellungen
○ 人物素描 * Maennliche Studie	1870-75 um 1870-75 不明 unklar	不明 unklar 鉛筆 Bleistift	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ ソマデヴィ (娘) 習作* Somedevi Studie	1890 無 ohne Bezeichnung	20 X 17.6 cm 鉛筆 Bleistift *	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ 少女ポートレート 習作* Mädchen Studie	1901 無 ohne Bezeichnung	31.8 X 24cm 鉛筆 Bleistift	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
◎ 読書する女性 習作 *Die das Buch lesende Frau, Studie	1906 C.P.06	不明 unklar 鉛筆 Bleistift	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ 風景、ダツハウ* 習作 Landschaft Dachau Studie	不明 unklar 無 ohne Bezeichnung	23.8 X 25.8cm 鉛筆 Bleistift	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
◎ 女性上半身ポートレート* weiblicher Porträt	1901以前 C.B.	47 X 36cm バステル・クレヨンP&K	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
◎ かぶとをかぶった男性ポートレート* Männlicher Porträt mit dem Helm	1903頃* um 1903 C.B.	47 X 29.8cm クレヨン Kreide *	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
○ アーノルト (孫) * 習作、 Arnold Studie	1935 無 ohne Bezeichnung	22.5 X 19cm クレヨン Kreide	エルヴィン・アルノルト博士 Dr. Erwin Arnold 不明 unklar
ハリス Eichhoernchen	1932以前 vor 1932 不明 unklar	不明 unklar スケッチ Zeichnung	不明 unklar K. München 1932